

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【公開番号】特開 2000-80047 (P2000-80047A)

【公開日】平成 12 年 3 月 21 日 (2000.3.21)

【出願番号】特願 平 11-183299

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/42 (2006.01)

A 6 1 K 31/422 (2006.01)

A 6 1 K 31/426 (2006.01)

A 6 1 K 31/427 (2006.01)

A 6 1 K 31/4439 (2006.01)

C 0 7 D 263/44 (2006.01)

C 0 7 D 277/20 (2006.01)

C 0 7 D 277/34 (2006.01)

C 0 7 D 413/12 (2006.01)

C 0 7 D 417/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 3/04

A 6 1 K 31/42 A E D

A 6 1 K 31/422

A 6 1 K 31/426

A 6 1 K 31/427

A 6 1 K 31/4439

C 0 7 D 263/44

C 0 7 D 277/34

C 0 7 D 413/12

C 0 7 D 417/12

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 21 日 (2006.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

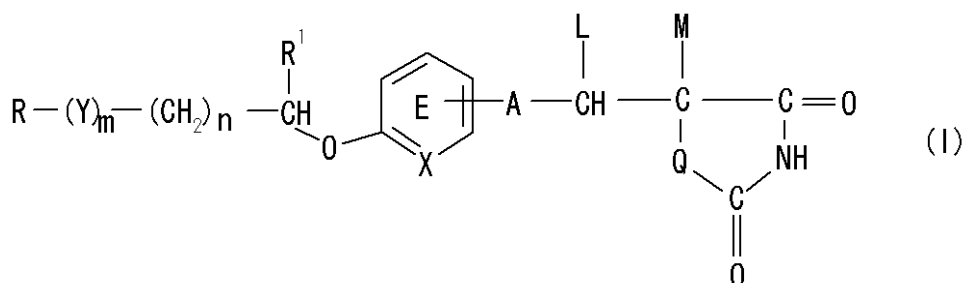
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】インスリン抵抗性改善薬と食欲抑制薬とを組み合わせるなる医薬。

【請求項 2】インスリン抵抗性改善薬が一般式

【化 1】



〔式中、Rはそれぞれ置換されていてもよい炭化水素または複素環基；Yは-CO-、-CH(OH)-または-NR³-（ただしR³は置換されていてもよいアルキル基を示す。）で示される基；mは0または1；nは0、1または2；XはCHまたはN；Aは結合手または炭素数1～7の2価の脂肪族炭化水素基；Qは酸素原子または硫黄原子；R¹は水素原子またはアルキル基をそれぞれ示す。環Eはさらに1～4個の置換基を有していてもよく、該置換基はR¹と結合して環を形成していてもよい。LおよびMはそれぞれ水素原子を示すかあるいは互いに結合して結合手を形成していてもよい。〕で表される化合物またはその塩である請求項1記載の医薬。

【請求項3】インスリン抵抗性改善薬が塩酸ピオグリタゾンまたはロシグリタゾンである請求項1記載の医薬。

【請求項4】一般式（I）で表される化合物またはその塩が塩酸ピオグリタゾンである請求項2記載の医薬。

【請求項5】食欲抑制薬が中枢性食欲抑制薬である請求項1記載の医薬。

【請求項6】中枢性食欲抑制薬がマジンドールである請求項5記載の医薬。

【請求項7】インスリン抵抗性改善薬が塩酸ピオグリタゾンであり、食欲抑制薬がマジンドールである請求項1記載の医薬。

【請求項8】糖尿病の予防・治療薬である請求項1記載の医薬。

【請求項9】糖尿病がインスリン非依存型糖尿病である請求項8記載の医薬。

【請求項10】中枢性食欲抑制薬がシブトラミンである請求項5記載の医薬。

【請求項11】一般式（I）で表される化合物またはその塩がロシグリタゾンまたはそのマレイン酸塩である請求項2記載の医薬。

【請求項12】糖尿病合併症の予防・治療薬である請求項1記載の医薬。

【請求項13】耐糖能異常の予防・治療薬である請求項1記載の医薬。

【請求項14】インスリン抵抗性改善薬を含有してなり、食欲抑制薬と併用されることを特徴とする医薬。